

## 平成 26 年度事業報告書

### 1 平成 26 年度事業実施概要

畜産業界においては、他産業のようなアベノミクスによる景気回復効果を依然として実感できず、むしろ、消費税率の引上げや円安による飼料や生産資材価格の高騰等、マイナス影響が色濃く出ました。

また、生産面については、隣国韓国での口蹄疫、国内養豚での PED(豚流行性下痢)、国内養鶏での高病原性鳥インフルエンザ等、重なる伝染病の発生が続きました。

一方、畜産物価格については、需給のタイト感や消費者の外国産原料の不信感による国産畜産物に対する需要の高まり等により、畜産物相場が高値で推移しました。

農業政策面においては、不透明な T P P 交渉が継続されていますが、6 次化産業を始めとする地域の農林水産物の利用促進等への取り組みや家畜衛生面での飼養衛生管理基準の徹底とともに農場 H A C C P の導入の意識が向上してきました。

また、飼料コスト低減対策として飼料用米の需要が拡大する中で国産飼料増産に向けて耕畜連携した取り組みが一層活発化しました。

これらを踏まえて、当協会は、畜産経営体のニーズに対応した支援指導に加え、自衛防疫の推進による口蹄疫・鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の発生予防や飼料用稲の種籾の取り扱いの他、畜産経営の収益性低下に対しては、補てん金の交付等により、その安定化に努めました。また、消費者の食の安全に対する関心の高まりに対応するため、県の畜産行政並びに関係団体と一体となり、生産から消費に至る総合的な支援指導活動の強化に努めました。

## 2 平成 26 年度の主な行事

年	月	日	行 事 内 容
26	5	27	三重県農業共済組合連合会 第 66 回通常総会
		29	(一社)三重県畜産協会 定期監査会
	6	6	三重県養鶏協会 第 34 回通常総会
		17	(一社)三重県畜産協会 第 1 回理事会
		18	三重県ふ卵種鶏協会 第 57 回通常総会
		19	三重県農政対策本部委員会
		25	(公社)中央畜産会 定時総会
		25	(一社)都道府県畜産振興協議会 定時社員総会
		30	(一社)三重県畜産協会 定時総会
	7	8	(一社)三重県畜産協会 定時総会(続会)
		8	(一社)三重県畜産協会 第 2 回理事会
		17~18	東海ブロック(衛生)会議
	8	8	三重県養豚協会 通常総会
	9	2	三重県畜産研究所 第 1 回研究評価委員会
		5	三重の畜産女性の会サン・カラット 総会
		25	地方競馬全国協会 平成 26 年度監査
		30	三重県食肉消費対策協議会総会
	10	14	三重県馬事畜産振興協議会
		16~17	東海ブロック畜産協会連絡協議会
		21	伊勢特産鶏普及協議会 第 27 回定期総会
	20~22	(公社)中央畜産会 新任基礎研修	
	12	9 (公社)中央畜産会 管理責任者・事務処理従事者研修	
27	1	29	三重県監査委員監査
		3	10 三重県畜産研究所 第 2 回研究評価委員会
		11	三重県鶏卵販売農業協同組合 第 48 回通常総会
		25	(一社)三重県畜産協会 第 3 回理事会

3 会員の状況

(平成 27 年 3 月 31 日

現在)

	期首	加入	脱退	期末
正会員	40	5	2	43

4 職員に関する事項

(平成 27 年 3 月 31 日

現在)

	期首	採用	退職	期末
正職員	5	1	1	5
嘱託職員	2	1	0	3
臨時職員	2	1	2	1
パート職員	2	0	0	2
合計	11	3	3	11